

広報

かわにし

NO. 496

平成11年12月10日



大盛況！ かわにし自満祭



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828
発行・編集 川西町役場総務課 E-Mail: kawanisi@nsv1.tiara.or.jp (毎月10日発行)

人口の動き

—12月1日現在—

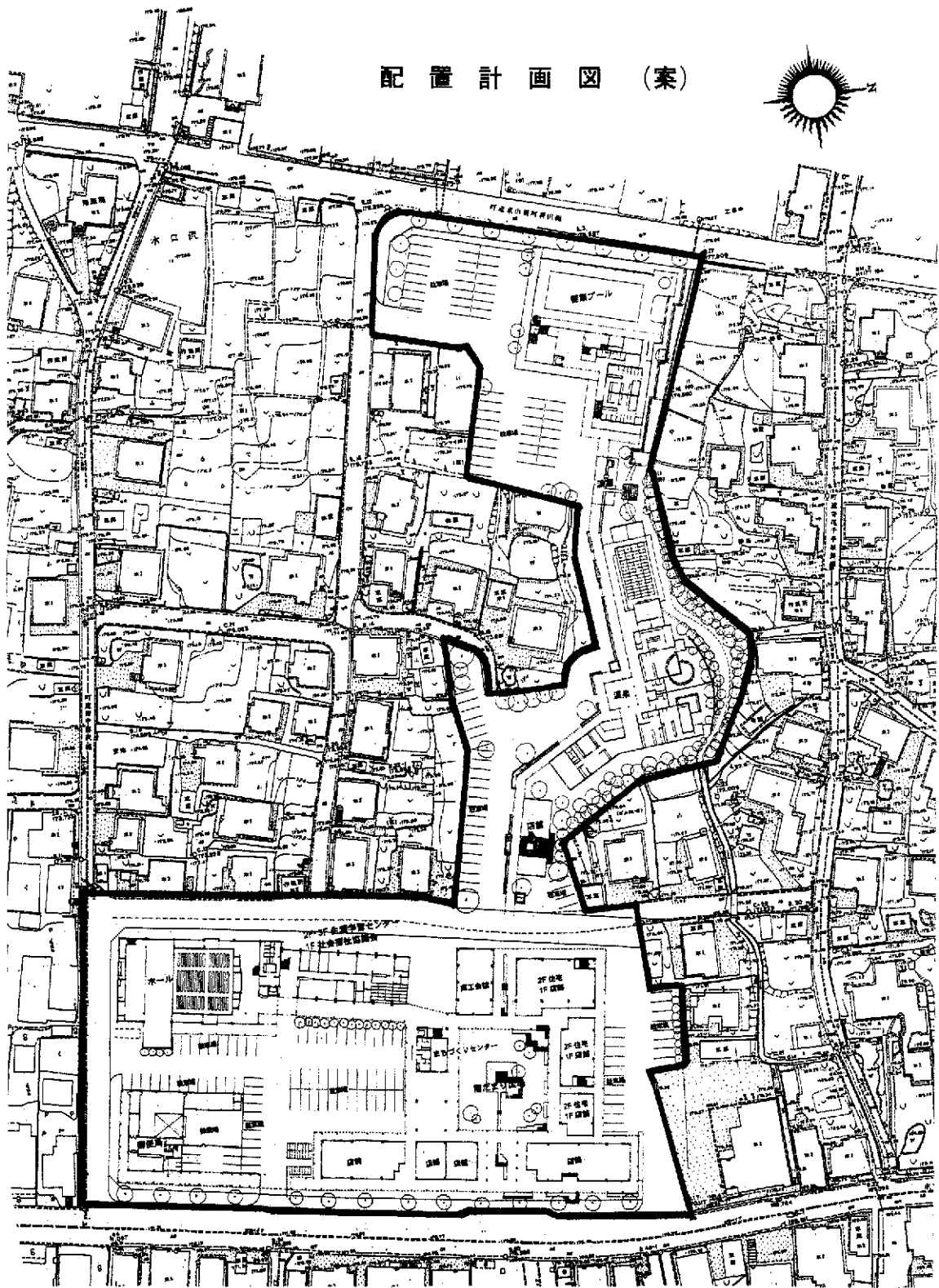
男	4,159 (－6)
女	4,265 (－5)
計	8,424 (－11)
世帯数	2,287 (±0)
() は前月比較	

賑わい空間創出事業 基本構想(案) まとまる!



「賑わい空間創出事業基本構想(案)」を発表する田口町長(左)と設計代表の内田さん

配置計画図(案)



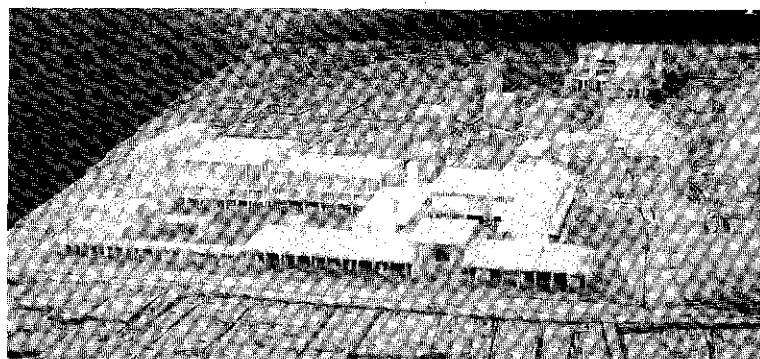
町の中心市街地(千手中心部)の活性化を図ろうという「賑わい空間創出事業」の基本構想(案)がまとまり、十一月六日、町総合センターで記者発表がありました。この事業は、昨年七月に施行さ

れた中心市街地活性化法に基づいて進められるもので、町の中心部である総合センターや商工会館、千手温泉などを含む右図配置計画図に示される一体約二・一haを整備し、およそ四十億円の巨費を投

じ、来年度から六年ぐらいをかけて段階的に施設整備を進める予定です。

施設の内容としては、温泉施設、健康プール、商業施設や福祉施設、生涯学習施設、広場などを配置し

ており、既存の総合センターや商工会館はリニューアルして活用したいとしています。また、総合センターに併設する生涯学習センターホールは、三五〇から四〇〇席規模の計画となっています。



基本構想(案)で示されている施設の模型

来年度は温泉施設を先発着工。十二年度には既存の千手温泉を取り壊して跡地に健康プールを建設する予定で、温泉熱を利用した温水プールとなり、排水を融雪に利用する考えもあります。また、中小小売業者が高度化資金を借りて建設する商業施設は、十三年度の着工を目標に計画中で、十二店舗が出店を予定しており、キーテナントについて現在、打診をしている段階です。

さらに、資金計画については、文化会館建設基金やふるさとづくり基金、財政調整基金を取り崩して十億円を自主財源として投入。残りの三十億円を有利な過疎債などで対応したいとしています。

こうした計画案づくりは、四月から本格的に取り組みが始まり、①町の顔となる親しみやすい空間 ②小さくつくり、大きく活用する柔軟のある空間

③自然エネルギーを活用した空間 ④柔らかない層につつまれる空間を計画の考え方に据え、住民、行政、計画作業チームとの協働作業を進める主体として「龍馬の会」を設置。ワークショップと中心メンバーによるスタッフ会議をそれぞれ五・六回実施し、現地調査やヒアリングなどの作業を重ねながら進めてきました。

生涯学習施設のホールの内容や商業施設のあり方、健康プールの運営など、今後は「賑わい空間」の中に整備するそれぞれの施設の具体的な運営をどのように進めていくかが重要な課題となってきました。それぞれの施設の具体的設計に入っていく段階で、併行して運営を考える検討組織づくりが急がれるところです。

こうした話し合いの場で、住民と行政が一体となって町の本来の意味での活性化につながるような中身を作り上げることが今後の緊急課題です。町でも様々な角度から検討をしていく予定ですので、皆さんからたくさんのご意見などもお聞かせいただければ幸いです。

※問い合わせ先

建設課賑わい空間推進係

☎ 68-3111 (内線322)



11月5日、総合センターで開かれた第6回ワークショップの様子



車などの交通確保のため活動する除雪車

冬期間の除雪にご協力を

十一月二十九日、総合センターで町除雪協力が開催され、今冬の除雪計画が決まりました。計画では、町道の一・二種除雪路線を合わせて一六七路線・七・八八キロメートルとなっています。

道路除雪は昼夜を問いません。路上駐車がありますと、作業の効率や交通の安全にも支障となりますので、夜間の路上駐車はしないでください。また、流雪溝などに雪を入れる投雪口(フタ)は、使

用しない間は必ず閉めておくください。

なお、古峰神社前を通過する町道山野田下平線は、孫左衛門橋たもとの合流点付近で一部除雪をしませんので、通り抜けできなくなります。ご注意ください。

【お願い】

①除雪作業中は、機械に絶対に近寄らないでください。

②道路には駐車しないでください

い。

③屋根の雪は路上に捨てないでください。交通事故の原因になり大変危険です。

④出入り口は、各戸で除雪してください。

⑤消火栓など重要なものは、ハッキリと目印をつけてください。

⑥雪の降らない時は消雪パイプの運転を止め、節水・節電をしてください。

⑦雪捨て場について、地権者のご

協力をお願いいたします。雪捨て場の確保ができないと、異常降雪時に交通止め期間が長くなる可能性があります。

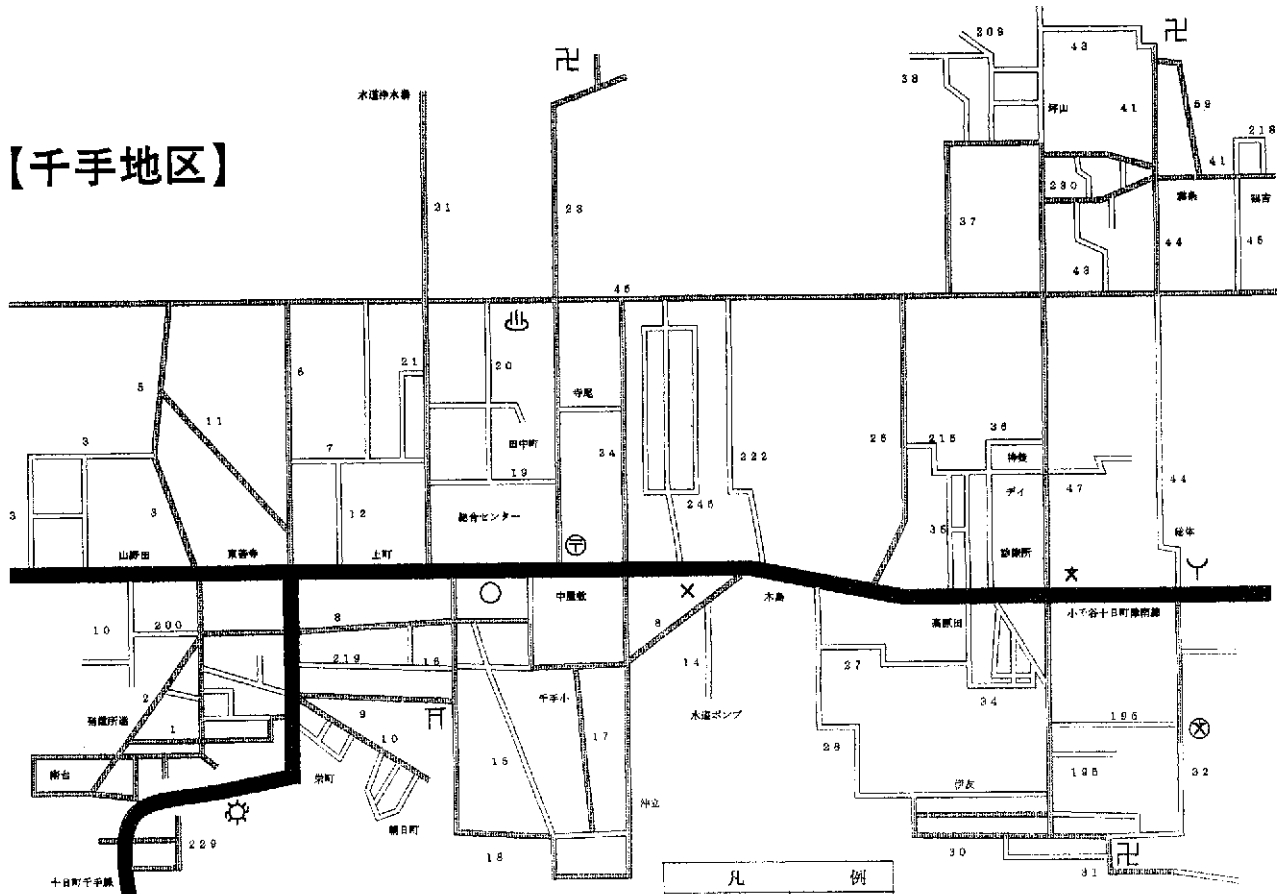
⑧ロータリー除雪車などにより投雪してはいけない所には、赤布などによりハッキリと目印を設置してください。

⑨豪雪の場合、除雪に時間がかかることがあります。ご了承ください。

⑩除雪についての連絡や相談は、十日町土木事務所(☎57-5203)か、役場建設課(☎68-3111 内線323)へ。

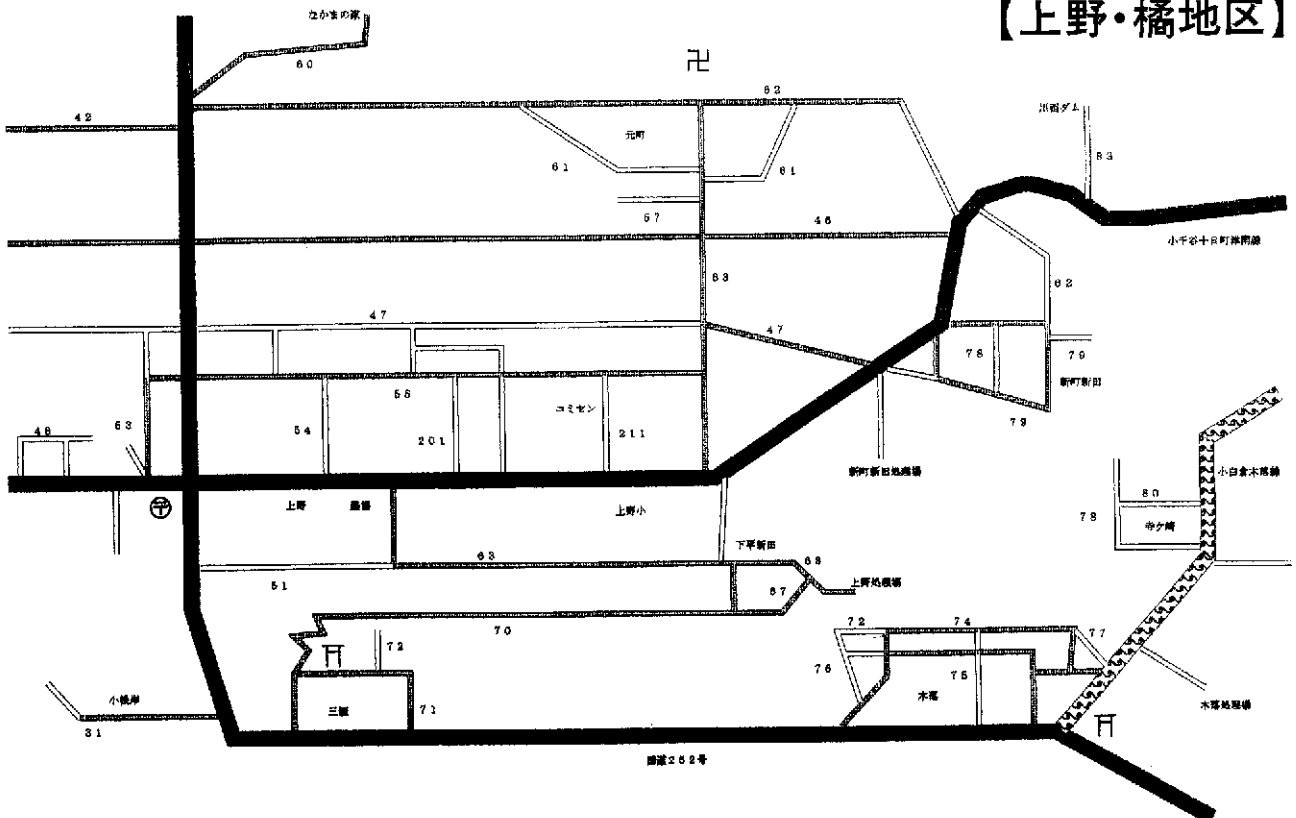
道路除雪計画路線図①

【千手地区】



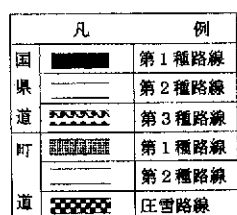
数字は路線番号です。

【上野・橘地区】

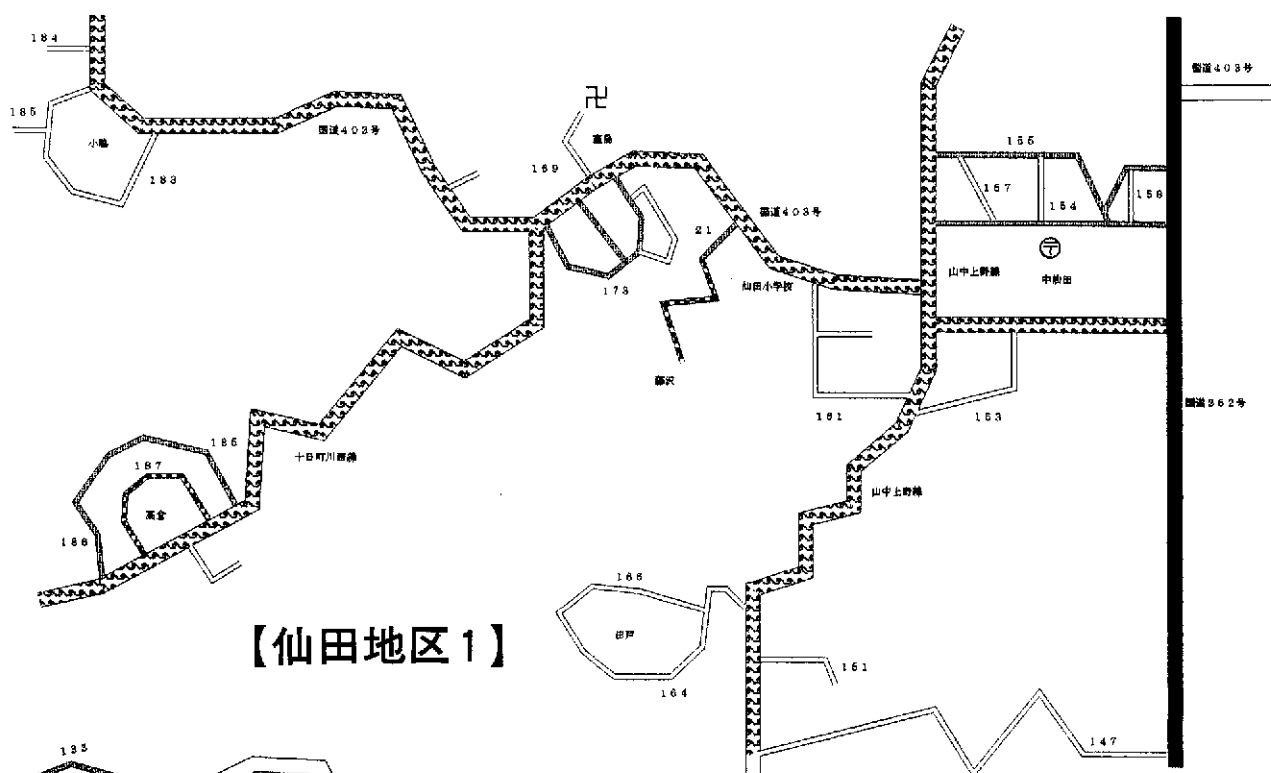
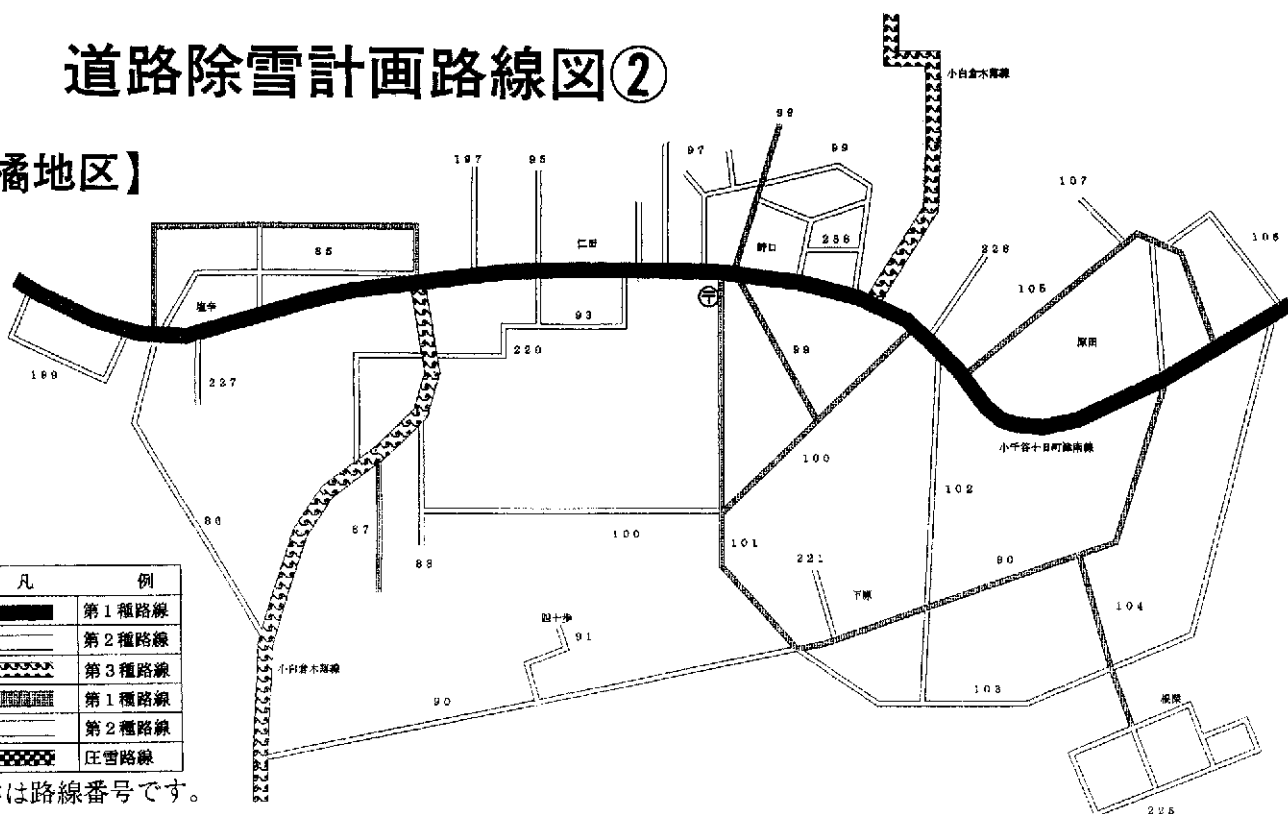


道路除雪計画路線図②

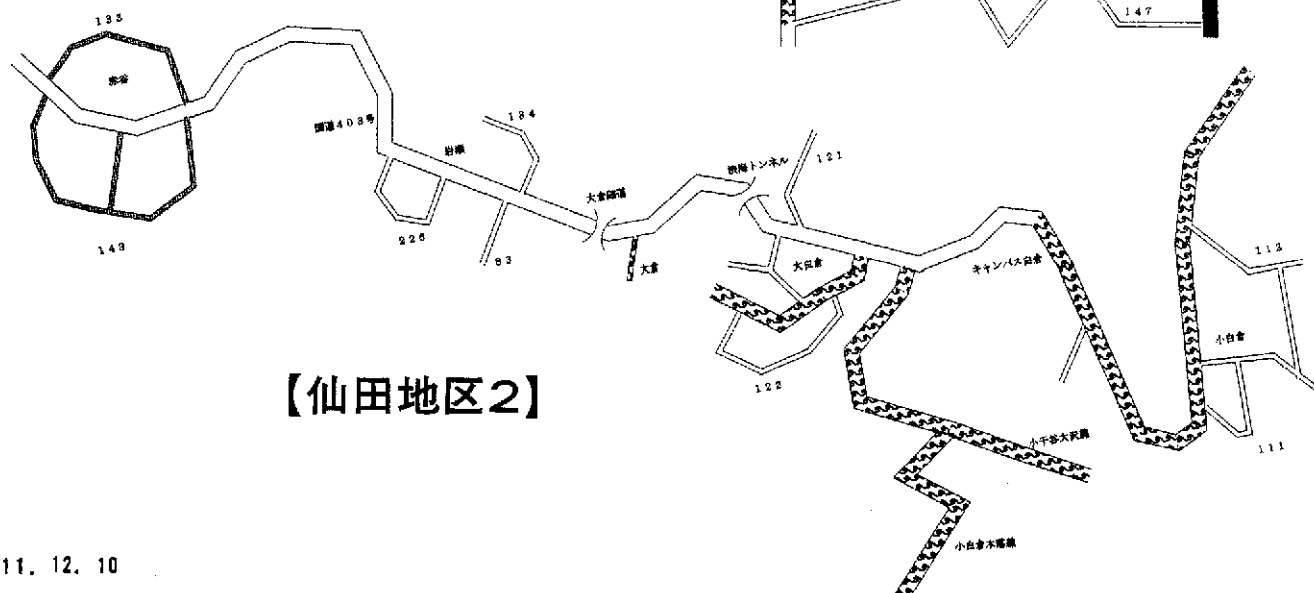
【橘地区】



数字は路線番号です。



【仙田地区1】



【仙田地区2】

宮さんが

日本スポ少顕彰者表彰

永年にわたってスポーツ少年団の指導・育成に貢献し、特に顕著な功績のあった指導者に贈られる日本スポーツ少年団顕彰者として、当町の宮啓一さん（70歳・山野田）

の受賞が決まり、十一月十四日、伝達されました。

宮さんは、昭和五十三年十月の千手野球スポーツ少年団発足から現在まで二十一年以上も単位団指導者として活躍。昭和六十二年四月から現在まで町スポーツ少年団本部長として卓越した指導力を発揮されており、平成六年には町スポーツ少年団は、全国表彰受賞という栄誉を得ています。

また、平成三年と八年に、日独スポーツ少年団同時交流において、町への受け入れも実施しています。



中条さんが県選管委員長表彰

十一月十九日、新潟市において選挙制度一〇周年記念新潟県大会が実施され、多年民主政治の確

立や選挙の啓発運動にてい身し、顕著な功績をあげられた方に県選管委員長から表彰状が贈呈されました。当町では、中条秀雄さん（87歳・岩瀬）に同委員長の表彰状が贈られました。

中条さんは、昭和四十五年九月から昭和六十一年九月までの十六年間町選挙管理委員会委員としてご尽力をいただき、その功績が認められたものです。



かわにし
自満祭 11/6~7



▶会場となった総合体育館では、町美術展・公民館作品展・お飾り紙研究会作品展・老人クラブ連合会作品展・町社会福祉協議会作品展・JA新潟川西女性部作品展・ビデオクラブかわにしによるビデオ上映会も行われました

◀JAなど関係者による野菜の特売。値段も安く大変なごにぎわいでした



▶泳ぐ宝石錦鯉。その品評会も前回より規模を拡大して実施されました



▶俳優の杉浦直樹さんも大の錦鯉好きだそうで、自満祭の会場へ顔を見せてくれました



▶今回初登場の「だるま落とし大会」。だるまを落さず台を除くのは、なかなか難しいようでした



▶広場では、有志がキネでおもちつき。あべかわや醤油をつけたできたてが配られました

町体育協会が

優秀競技者らを表彰

十一月十四日、総合センターで、第七回町体育協会交流会・第二十回町体育功労者等表彰式が実施され、優秀競技者二人、奨励者十七人を表彰しました。

受賞された方は次の皆さんです。

★優秀競技者章

(敬称略・順不同)

清水 孝(23歳・山野田・平成十一年度北陸陸上競技選手権大会五千メートル競歩第二位、平成十一年度県陸上競技選手権大会五千メートル競歩優勝)

村越裕介(17歳・野口・平成十一年度全日本学生卓球選手権大会出場、平成十一年度北信越学生卓球選手権大会第二位)

★奨励者章

【卓球】高橋拓也(17歳・原田)

池竹祐子(18歳・原田) 須藤明美

(16歳・野口) 南雲理江(16歳・四郎兼)

【陸上】小林貴志(18歳・高原田)

秦野慎也(19歳・仁田) 茂野 晃

(18歳・室島)

【スキー】尾身尚也(19歳・発電

所通り東) 内山鉄兵(19歳・栄町)

小林由子(19歳・中仙田) 小林優

(19歳・中仙田) 高橋 渉(17歳・中仙田)

柄沢健太(18歳・沖立)

【空手道】小海もも子(18歳・神社町)

保坂達也(17歳・木落)

藤原弘生(18歳・仁田) 川崎将幸

(11歳・中島町)

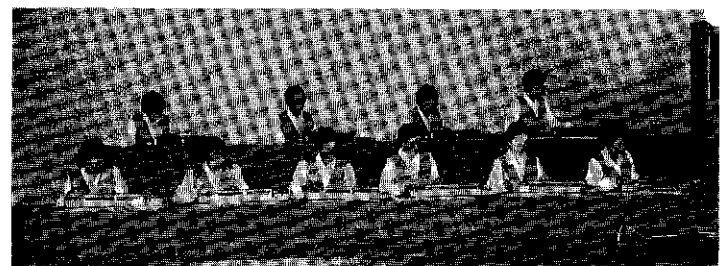
被表彰者のみなさん



▶49演目の出し物に、聴衆もたつぷり楽しんだ「民謡とおどりの祭典」



▶第10回を迎えた「ゆーゆーコンサート」がちょうの会による合唱から



▲JA新潟川西女性部オーリーブによる大正囃川西小唄ほか3曲が披露されました



▲今回初めて登場したJA女性部による帯の舞



▲ゲームコーナーでは、親子で一緒になって楽しむ姿もいっぱい見られました



▶今回用意されたサケは400本。時間前から長い列ができていました



▶年賀はがきの特設コーナーや切手シートなども販売されました

12年4月
から

ペットボトル、トレー類 を回収します

容器包装廃棄物は、私たちが排出するごみの約六十パーセントを占めています。その減量を図り、リサイクルを積極的に推進するために制定されたのが「容器包装リサイクル法」です。

一般廃棄物の減量化を図るうえで最も有効なのは、まず、廃棄物の発生をできるだけ抑えることです。次に、廃棄物として排出されたものを「ごみ」にするのではなく、再利用できる資源にすることです。そして何よりも、ごみ減量やリサイクルは、社会全体で取り組まなければ効果が上がりません。効果的な取り組みには「消費者が分別排出」、「市町村が分別収集」、し、「事業者が再商品化（リサイクル）」することが大切です。

皆さんは、一着のワイシャツがペットボトル四本のリサイクルで再生されるのを知っていますか。ペットボトルも捨ててしまえばごみ、回収すれば大切な資源になります。身近なペットボトルやトレー・カップ類の容器は軽くて割れにくい、衛生的などの理由で近年大きく需要が伸びています。その反面、当町においてもこれらがごみ増加の一因となり、処理費用を増やす要因にもなっています。そこで、十日町地域衛生施設組合では、平成十二年四月一日から「容器包装リサイクル法」に基づいて月二回、ペットボトル・トレー・カップ類の容器類を資源ごみとして回収します。大切な環境を守り、限りある資源を活用するためにもご協力をお願いいたします。今後も、広報紙などを通じて詳細をお知らせするとともに、資源ごみ回収の日程を来年三月に全戸配布する「ごみカレンダー」の中でお知らせします。

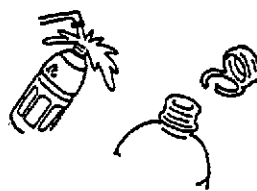
衛生施設組合からのお願い

1. 冬期間は降雪状況により一時的に収集不可能になる場合があります。ご迷惑をおかけしますが、皆さんのご協力をお願いします。
2. ごみ集積庫前の除雪をお願いします。
3. ごみ収集車で火災事故が発生しました。これは自動点火装置付きの石油ストーブに石油と電池が残っていたことが原因です。石油ストーブやガス器具は必ず電池を取り外し、燃料を完全に抜いてから出してください。また、豆炭などの取り灰は火が完全に消えていることを確かめてから出してください。
4. 雪が降ると、霧谷処分地へは行けなくなります。燃えないごみの自己搬入は、高城沢（吉田の千手トンネル川西側）で保管となります。その場合は、処理費のほかに保管料をいただきます。
5. ごみの分別徹底と減量化にご協力ください。

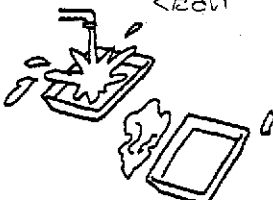
■ 問い合わせ＝十日町地域衛生施設組合
(☎52-3924) へ

出し方

- キャップ・ラベルをはずし、よくすすいでください



- 異物を取り除き、洗って乾かしてください



- 上ぶたを取り、よく洗って乾かしてください



対象

- 1のPETマークが付いているものだけです
- 容器の色・大きさは問いません
- 飲料・酒・醤油用に使われたもの



- 発砲スチロール製の白いものだけ
- 色物や柄のついたもの、納豆の容器は収集しません
- 大きさは問いません

- 発砲スチロール製のもの色・大きさは問いません



ペットボトル

トレー

カップ麺容器

資源ごみとして追加収集するもの

平成9年度から3か年計画で策定を進めてきました「都市計画マスタープラン」は、地域別構想案、実現のための施策案をとりまとめて、マスタープランの全体が完成する時期を迎えております。

今月号と、来月号では「地域別構想案」の概要をお知らせすることにしました。今月は、千手地域と上野地域の地域別構想案を掲載しましたのでご覧ください。

なお、この構想案は先月、総合体育館で開催された町民文化祭会場において、その案を展示し、来場した方々からご意見や感想などを多数お寄せいただきました。ご協力いただき大変ありがとうございました。

千手地域まちづくり構想

◆課題

- ◎昔から伝わってきた地域性（伝統・文化）の継承
- ◎中心市街地としての活力の創出
- ◎まちづくりのオピニオンリーダーとなる人材育成
- ◎高齢者や子供の交通安全性の確保
- ◎商業の活性化
- ◎利便性の充実

◆まちづくりの目標

《将来像》

豊かな暮らしと人材による賑わいあふれる地域

商業、教育、文化、医療、行政など多様な機能の集積により利便性の高い豊かな生活環境を提供し、人々が集うことから活気あるまちなみの創出を目指します。

◆地域整備の方針

- ◎中心地の市街地形成にむけて都市的機能の整備・充実を図ります。
- ◎役場周辺の中心拠点の整備・充実を図ります。
- ◎自然環境に配慮した土地利用に努めます。
- ◎工業の振興を図り、雇用促進に努めます。
- ◎骨格道路などの整備・拡充を進めます。
- ◎河川・ダムなど水辺環境の維持・整備を図ります。
- ◎生活にゆとりをあたえる公園緑地の整備・拡充を図ります。
- ◎まちづくりを支えるソフト施策を進めます。
- ◎地域に残る歴史的資産の保全・活用に努めます。

上野地域まちづくり構想

◆課題

- ◎中子の総合公園を中心としたレクリエーション施設の充実
- ◎星名家住宅、節黒城跡など歴史的財産の保全
- ◎田園景観の保全
- ◎子供のための身近な遊び場の確保
- ◎若者の定住化

◆まちづくりの目標

《将来像》

歴史・遊び・農業を生かした魅力あふれる地域

歴史的資産や観光レクリエーション施設、ならびに豊かな水田地帯を有する地域として、それら資源の保全を図り、地域の魅力として活用することから魅力あふれる地域の創出を目指します。

◆地域整備の方針

- ◎地域拠点、およびその周辺市街地においては都市的機能の整備、充実を図ります。
- ◎健全な自然環境の保全に努めます。
- ◎骨格道路や生活道路などの整備・拡充を進めます。
- ◎豊かな自然環境を活用した公園・レクリエーション施設の整備・拡充に努めます。
- ◎河川・ダムなど水辺環境の維持・整備を図ります。
- ◎周辺環境に適合した良好な景観形成の実現に努めます。
- ◎歴史的文化的に貴重な資産の保全に努めます。



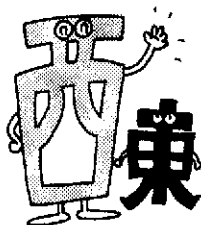
お問い合わせやご意見は…建設課 都市計画係 ☎68-3111(内線322)

12月の気象

一年の最後を締めくくる12月は「師走」と呼ばれ、何かと忙しい月です。冬の訪れを告げる初雪「初霜」「初氷」などの便りも聞かれ、各地では冬の準備にかかる季節です。暦の上では12月8日ごろを「大雪」といいますが、実際に雪が多く降り出すのは一か月後となります。また、12月22日ごろを「冬至」といい、一年中で昼間の時間が最も短い日、すなわち夜が最も長い日です。北半球の日本では太陽が南の空の低いところを通るので、一年中で部屋の一歩奥まで日光が差し込むこととなります。

◇西高東低の気圧配置

12月中旬ごろからシベリア高気圧が発達して、北西の季節風が吹き出し寒さが厳しくなります。同時に、東海上では低気圧が発達して、「西高東低」の冬型の気圧配置となります。日本海側では雪が降り、ところによっては「雪おこし」という雪を伴った大雪となります。太平洋側では晴れて乾燥した日が続きます。



星創プラン 通信

12

全国4都市でプレシンポジウムを開催

来年の7月21日～9月10日を会期として開催される「大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ2000」を全国に広め、多くの来訪者を招き入れるための仕掛けとして、日本の主要都市である大阪（10月30日）東京（11月3日）福岡（11月8日）名古屋（11月19日）でプレシンポジウムが開催され、合わせて500人が出席しました。

いずれの都市でも、当地域の応援団としてお願いしている美術デ



福岡でのプレシンポジウム（福岡アジア美術館）

イレクターの方々から主体的に企画を立てていただいたため、バラエティに富み興味深いイベントとなりました。プログラムは、北川フラム氏（里創プラン総合コーディネーター）による事業説明のあと、それぞれの都市でアートやまちづくりを先導している方々3～4人によるパネルディスカッションで、「地域づくりとアートの関係」、「場の個性を生かすためのアート」、「現代美術の潮流」など、様々な4点から越後妻有の取り組みの意義が語られました。

参加アーティスト138人を発表

東京国際フォーラムでの記者発表を兼ねたシンポジウムでは、参加アーティスト138人が公表されました。内訳は、国外31か国・62人、国内76人となっており、参加者数及び質でも世界有数の規模となりました。これに、公募アーティストが6人加わり、開催日に向けて様々な形で作品製作が進んでいます。

東京でボランティア説明会を開催

50数人が参加した東京でのボランティア説明会



大地の芸術祭では、事業を支えていただく「ボランティア・スタッフ」を地域と東京で募集しています。しかし、東京での応募者が100人を超えたため、11月21日、東京事務局（渋谷区代官山）でボランティアの内容などについての説明会を開催しました。

参加者は美術系の大学生を中心に50人以上にのぼり、作品制作協力や作家サポート、イベント、広報、通訳など、具体的な作業項目を説明した後、「妻有ボランティア（仮称）」の名称で立ち上げ、自主的な活動を進めていくことになりました。

地域内でも継続してボランティアを募集しています。様々な参加形態がありますので、ぜひ登録をお願いします。

松代町で花の道ワークショップ

花の道事業の一環として、松代ポケットパークの基本計画づくりワークショップの第1回が11月9日松代活性化センターで開かれ、20人が参加しました。

松代町にはポケットパークを整備する計画があり、これに、地域住民の皆さんから参加いただき、知恵を出し合い、花を生かしたシンボリックな場所づくりを行っていくことが目的です。ワークショップでは、事業にかかわるアーティストの土屋公雄氏を迎え、場所の説明のあと、参加者の意見交換が行われ、場所の利用方法や花の種類、高校生の声を聞いたするなど、多くの意見が出されました。

松代町でのワークショップは、このあと2回開催することになっています。



松代町での花の道ワークショップ

ステキ発見・紙上展覧会

芸術部門



川西町長賞 「若妻の変身」

（佐藤弘さん・見附市）



感動賞

「豪雪世界」 （山内豊行さん・十日町市）

十日町市

※問い合わせ先

十日町地域広域事務組合
企画振興課（☎5712637）

川西町長選挙 ⑤

岩瀬 金子 幸作

中村壮吉が三選

第三回の川西町長選挙は昭和三十九年九月一日に執行された。開票の結果は次のとおりであった。

当選 中村壮吉 四九四八票
次点 登坂久平 一八〇九票

告示前日までは平穩そのもの、中村壮吉がこんども無投票で三選されるとだれもが思っていた。ところが、登坂久平（元仙田村長・赤谷）が告示の日突然として名乗りを上げ、安泰ムードは一転して町中に衝撃が走り、投票日の前日まで活発な論戦が展開された。とはいえ、人びとは現職の強味を疑わなかったらしく、有権者の出足も好調とはいえず投票率八十六パーセントにとどまったが、八年ぶりに貴重な一票を行使できた町民の表情は明るく爽やかだった。

登坂久平の勇氣

登坂久平が立候補の動機を次のように語っている。

「中村町政にこれといった不満があるわけではないが、町長を三期目も無投票で当選させるのは町のためにもよろしくない。ほかにだれかが出てくれればと思ひ告示の

日まで注目していたが、だれも出なかったのであえて出馬した」

登坂の立候補は七千八百人の有権者にとっては寝耳に水で、それだけに内外の関心を呼び、全町民が改めて主権在民を自覚した。だいぶ前から側近に漏らしていたのならともかく、あまりにも突然の出馬だったことから困惑する人も少くなかった。前以てわかっていたらば支持したであろう有力者も、ほとんどの人が中村の支持に名を連ねており、この人たちが信条や節操をくつがえして登坂の支持にまわることは至難だった。こうした事情を百も承知で名乗りを上げた登坂は、リツ夫人を選挙責任者に据え、ごく少数の力強い支援者と共に孤立無援で戦い、二千票に近い票を得た。まことに見事で、出馬の目的は十二分に果たしたと評さなければならぬ。

町長選に学んだもの

昭和三十九年九月十日発行の本紙に「町長選に学んだもの」と題した次の評が載っている。

中村さんの無投票当選が確実視されていた。それが、降ってわいたような選挙になったが、有力者



中村初代町長



登坂元仙田村長

きこの票が、後にしこりを残すことなく、中村さんならではのより堅実な町政となつて現れてくれることを期待してやまない。

登坂さん、当落をさておいての立候補だったとはいえ、選挙のあくる日に、あなたが自らの手でボスターを剥がして歩く姿は痛いたしゅうございました。しかし、あなたのこのたびの勇氣は、町の人たちの政治意識をいやが上にもたかめてくれました。身近な町の政治が、わたくしたち自身の手で行われているのだということ、こんどの選挙ほど強く感じたことはありません。

「町長選挙をする、町は三十万（現在は六百三十九万円）もの大金を使わなければならぬ、出ても駄目だから引込みなさい、みんなにも迷惑がかかる。」こう言つて辞退をすすめた人もあったというが、登坂さんは頑として応じなかった。飛ぶ鳥も落とさん勢いの中村さんに、敢然と立ち向かった登坂さんのような勇氣をみんなが持ちたいと思う。

来年（昭和四十年）は町議会議員の選挙があり、あと四年たつとまた町長選挙がある。つまらない遠慮や思惑を考えないで、みんなが勇氣を出して名乗りを上げるのだ。町長選挙には少なくとも各地区から一名ぐらいの立候補者が出て鍋ぎを削るべきだ。活発な論

戦が展開される、わたくしたちは各候補者の政見をよく聞いて投票し、当選した人に協力し、かつ監視を怠らない。民主的な町として、川西町が発展していくための要諦はここにある。

町長が肝焼いた

中村町長は、職員的身でありながらこの記事を書いた私に何のお咎めもなかった。それどころか、何かにつけて可愛がってもらったことがあった。職員労働組合の執行委員長だった私が、水品忠雄副委員長、上村健一書記長と三人で「全職員の給与一斉一号アップ」を交渉したときのことである。

「川西町職員の平均給与は県内町村のケツから五番目です。上げてください」と頼んだら、氣に障つた時の癖で左手の指を下唇に当て、公憤し、「そつげのバカのことなんし出来ると、町の衆が何と言うか、錢も無いし、おまえ町長になって上げてみろつしやい」と言われたつけ。

中村町長は九月三日に初登庁して当選の抱負を語り、全職員に「一丸となつて町づくりにとりくんでほしい」と訓示したが、年齢を意識されたこともあつてか、三期目の町政に不断の決意をもつてのぞんでいることがうかがわれた。

（文中敬称略）

年末の交通安全防止運動

12月11日(土)～31日(金)まで

12月は「大気汚染防止推進月間」です

標記期間にあたり『新潟県アイドリング・ストップ運動』を実施しております。不必要なアイドリングによる大気汚染や、二酸化炭素による地球温暖化などの防止に皆さんのご協力をお願いいたします。



知っている？

つもりじゃだめです 最低賃金

最低賃金は、低賃金労働者の労働条件の改善や事業の公正な競争の確保などに重要な役割を果たしており、その事業場で働く全ての労働者（常用、臨時、パートアルバイトなどを含む）に適用されます。

9月30日から、新潟県最低賃金は次のように改正されました。ご確認ください

日 額 5,049円

時間額 632円

働くあなたに 確かな支え 労働保険

労働者を1人でも雇用する事業主は、労働保険（労災保険・雇用保険）の加入手続きが必要です。

※詳しくは、十日町労働基準監督署（☎52-2079）または、新潟労働基準局（☎025-266-4165）へお問い合わせください。

暮らしのワンポイント

普段は洋服でも、お正月や成人式など、「ここぞ」というときに着物を着る人は多いのではないのでしょうか。TPOに合わせ、楽しく着物を着てみましょう。

フォーマルな洋服

と違い、着物は昼夜の使い分けがなく、季節や場所、目的に合わせます。

未婚の女性の晴れ着である振袖は、パーティやお呼ばれなど、華やかな席に着用し、色や柄は華やかな物が選べます。

留め袖は、女性の第一礼装です。

一般的に、黒留め袖は結婚した女性の着物。色留め袖は未婚の女性

皆さんの声・作品をお待ちしています

町では、町民の皆さんのご意見やご要望などをお聞きし、今後の町づくりに生かしたいということで、はがきによる「まちづくりについての提言・意見」を毎年受け付けております。また、俳壇コーナーの文芸欄にご希望の方からご投句いただいたり、小・中学生の作品を掲載したりして、ご紹介をしているところでもあります。しかし、はがきによる意見・要望にあつては自由なご意見や発想をお寄せいただくには至っておりませんし、文芸欄についても限られた分野だけとなっております。

そのようなことから、今後、皆さんから自由な声をお聞きしたり、いろいろな分野の作品を掲載したりして、広報紙で紹介できればと考えておりますので、みなさんの声や作品をお寄せください。

※提出・問い合わせ先

〒948-0019 川西町大字水口沢12

役場総務課 文書広報係（☎68-3111（内線・305））

着物のTPO

でも着られるとされています。家紋を入れた黒留め袖は式服として、色留め袖は着る人の個性を生かして、パーティなどに用います。いずれも式服であることに変わりはありませんで、着付けやコーディネートはきちんと決まりに従いましょう。

訪問着は、留め袖に

次いでフォーマルな着物です。お茶会やパーティなど、様々な場所

で用いられ、デザイン

も豊富ですが、それだ

けに、行き先や目的に

合わせた選び方をす

ることが大切です。ホテ

ルやレストランなど、

洋風の場所ではモダン

初参加大歓迎

えぶろんクッキング教室

と き 12月21日(火) 午前10時30分～
内 容 「洋風お正月料理」
と 所 東北電力(株)十日町営業所
クッキングスタジオ「えぶろん」
定 員 18人 (応募者多数の場合抽選)
持 物 エプロン
参加費 500円
申込先 東北電力(株)十日町営業所お客様センター
☎52-3107



なものでもOKですが、茶室や日本庭園などには和風で落ち着いた感じのものを。もちろん、季節に合った柄を選ぶことを忘れずに。袖や小紋は、観劇や買い物など、街着として最も着る機会が多い着物です。袖は長く着られることを念頭に置き、飽きのこないシンプルなものを選びましょう。小紋はワンピース感覚で、好みに合ったおしゃれなものを。

男性の着物は、袖やお召しが一一般的で、日常着でも外出時や来客時には羽織をつけるのが決まりです。羽織のひもは色ものですが、礼服の場合は全て白でそろえます。

善

意

(敬称略)

社会福祉に

高橋 満雄(八王子市)十万円

福祉に

池竹 利治(原田) 三万円

岩瀬そば祭り

十一月十四日、岩瀬ライスセンターで「そば祭り」が開かれ、地域内外からおよそ百八十人が集まり、手づくりのそばの味を堪能しました。

地域の人も総出でこの催しを楽しみ、従事者も手際よい作業で集まった人たちにそばなどを振舞っていました。



老若男女が手づくりのそばの味を楽しみに集まりました



かわち

俳壇

高崎正風選

離れ住む子等思ひつゝ小豆選る

外ざされて部屋に明るし秋すだれ
石売りの来て手間どりし冬囲

北窓をふさげば暗く温かし

この土にしてこの大根の白さかな
百日草百日咲きてまだ咲きて

小白倉 江口みゆき

紅葉の谷間抜ければ出湯の街
晩秋の畑の残り菜みづみづし

岩瀬 登坂伊智子

小春日や汚れてありし句碑の裾
赤蜻蛉土に止まりて鈍きかな

霜条 星名 星光

息災を妻と分け合い大根抜く
川底に秋の日差しを通りをり

新町新田 若山 向山

湯豆腐に曇りし眼鏡拭きもせず
盗み取る柿渋柿と笑われし

野口 野沢 寅生

新米を炊き出稼ぎの夫送る
金賞の菊に集まる瞳かな

小白倉 田中 優美

一寝入りしてからよりの夜長かな
ポストにも霜おく今朝の寒さかな

元町 田畑 吉治

ひる灯し牛舎にともし秋の雨
八海の裾野は暮れし吊し柿

足立区 涌井ハル子

短日の柿の実残し暮れにけり
美容院出で、バス待つそぞろ寒
喪の知らせ又も来る十一月よ
括られし先きに一輪帰り花

山野田 藤田ひろ志

湯豆腐やつれ添い来たる五十年
豊年の農夫と語る湯治宿

練馬区 須藤 遊人

庭先のザクロが笑いもがれけり
暖かき今日は良き日と障子張る

八王子市 松浦 サク

掃除より洗濯が先日短か
古文書の立読みをする歳寒し

上町 高橋 願似

風騒ぐススキも騒ぐ河川敷
小春日や猫がじゃれてる鈴の音

志木市 山田 徳治

とりどりの小菊に軽く蝶の舞う
軽やかに蝶のとび交う乱れ菊

浦和市 登坂 博史

幾度も掃いて落葉の限りなく
選ばれし形揃えて干大根

大倉 中條 石平

二年目のさざんかの花十ばかり
事故からの余白の多き日記果つ

野口 村越 由喜

雪国の甥の挙式へ着ぶくれて
一ひらの蝶をいざなう黄菊かな

綾瀬市 野沢ますえ

紅葉の一雨ごとに色かえて
郵便箱へ覆いかぶさり花ハツ手

中仙田 樋口タマエ

霜条 大海 白涛

おとしよりの食事

高齢になると体のいろいろな働きが衰え低下してきます。これは、腐など調理法や、加熱時間を変え食べることに関係した機能についてでも例外ではありません。歯の欠損によって咀嚼力が低下する。

唾液の量が減り食べ物が飲み込みにくくなる。塩味と甘味を感じにくくなる。濃い味付けを好むようになる。のどの渇きに、鈍くなってしまう。脱水状態になりやすいなど、加齢にともなっているような機能が変化してきます。これらの事を考慮して食事を作りましょう。

ごはん、パン、めん類はエネルギー源として大切な食品ですから毎食必ず取りましょう。ごはんは軟らかく炊く。お粥にする。めん類は、状態に合わせて茹で方を加減したり、細かく切ったりする。飲み込みをよくするためには片栗粉でとろみをつける。パンは水分が少なく飲み込みにくいので、牛乳やスープ、味噌汁、ジュースなどと一緒に食べるようにする。

たんぱく質源として、魚は消化もよく、咀嚼力の弱まった人にも適しています。煮る、蒸す、焼くなどして使います。豚肉、鶏肉など肉類は、肉をたたいて繊維を切って、蒸す、煮るなどして使います。レバーも身も軟らかく消化も良いので、適しています。

卵は、半熟卵、茶わん蒸し、卵豆腐など調理法や、加熱時間を変えれば用途の広い食材です。野菜類は茹でる、煮るなどして使いますが、煮てから細かく刻んだ方が野菜の旨味が出ます。細かく刻むのに調理用のはきみがある便利です。

高齢者の食事特に気をつけた事は、低栄養状態による貧血や床ずれを防ぐ為にたんぱく質が不足しないこと。脱水症状にならない為に、食事に必ず汁物をつける。食後にお茶をすすめるなどして一日に1000ccから1500ccは取る事です。

食べる事は、楽しみのひとつです。個人個人に合わせて調理しておいしく食べましょう。



戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

村山 航基 純子 伊友

たかさご—ご円満に

木村 努 仁田
根津 孝子 十日町市
水落 誠 十日町市
和久井 洋子 木落

昇天—ごめい福を祈る

高橋 貴之 田中町
島田 歩美 十日町市
村越 俊幸 野口
野上 香奈 十日町市
中川 直也 みのり団地
庭野 紀代美 みのり団地

(11月1日—30日届け出分)

表紙の写真

十一月六日・七日と、第四回「かわにし自満祭」が川西中学校などを会場に盛大に開催されました。



仙田子供太鼓も今回で二回目の出演。堂々としたステージでした。

六日の、かわにし夢きやらばん公演「龍馬 郷土を拓いた神の馬伝説」は七百五十人ほどが集まり大好評でした。

また、七日には「大なわとび大会」でスタート。十三チームが参加し、野口チームが優勝。四十九演目の出し物に、聴衆もたっぷり楽しんだ「民謡とおどりの祭典」、「だるま落とし」や「錦鯉品評会」、屋台村や鮭・肉の安売りも大人気。錦鯉品評会に来町した俳優の杉浦直樹さんが登場するひと幕もあり、一段と盛り上がりました。総合センターでは、ゆーゆーコンサートや大正琴の演奏なども開催されました。

一方、総合体育館を会場に両日開催された町民文化祭'98にも大勢の皆さんが足を運び、恒例となった秋の行事を楽しみました。

ちいさな展覧会



▲「1つの地球を大切に」
2年生 平野菜菜子 さん



▲「水墨画」
3年生 佐藤泰之 さん



▲「シュート」
1年生 星名隼人 さん



▲「水墨画」
3年生 高橋 望 さん



▲「星と・・・」
1年生 柄沢菜美絵 さん

134

川西中学校

(1月号は「かわにしいところ写真コンテスト」入賞作品を掲載する予定です)